

# 連合愛知安全衛生センターだより

愛知県勤労者安全衛生センター 〒456-0002 名古屋市熱田区金山町1丁目4-18 ワークライフプラザれある 3F  
 TEL (052) 684-0003 FAX (052) 684-0303 連合愛知ホームページからも閲覧できます <https://anzen0003.rengo-aichi.or.jp/>

## 全国安全週間に向けて ～第1回安全衛生担当者研修会を開催～



7月の全国安全週間に向けた取り組みとして、「第1回安全衛生担当者研修会」を開催し、構成組織・加盟組合、安全衛生センター理事、WEBでの講義聴講者を含め61名に参加いただきました。講義、グループワークを実施し、参加者からは「14次防の目的が理解できた」「自律的でポジティブなリスクアセスメントの取り組みを労使で進めたい」等、好評を得ました。

### <講義>

#### 「第14次労働災害防止推進計画」の取り組み



<死亡者数>  
2027年迄に25人以下  
<死傷者数>  
死傷年千人率を2027年までに減少させる（2022年比）

愛知労働局 濱田 勉 様



<グループワーク>  
①転倒災害の未然防止について  
②2024年問題における課題  
産別を超えて意見交換を実施しました！

## 「2023労災防止キャンペーン」の取り組みについて

事前に展開しているチラシの裏面が職場の自主点検チェックシートとなっております。加盟組合毎に職場点検を実施いただき、点検結果のご報告を安全衛生センターまで、お願い致します。

### 2023労災防止キャンペーン 安全衛生活動自主点検チェックシート

該当する項目に☑をし、結果をメール、FAXもしくはWEBアンケートでご報告をお願い致します。

業 種 製造業 建設業 運輸業 卸売業 小売業 サービス業 その他 ( )  
 従業員規模 50人未満 50～100人未満 100～300人未満 300人以上

連合愛知安全衛生センター

F A X : 052-684-0303

メール: center@aichi.jtuc-rengo.jp



WEBアンケート回答期限  
6月12日(月)～7月31日(月)

<h4>1 職場内の整理・整頓について</h4> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 必要な物と不要な物が分別されており、不要な物が放置されていない。(不要な物は処分する)</li> <li><input type="checkbox"/> 物の置き場所が決まられており、取り出しやすい置き方になっている。</li> <li><input type="checkbox"/> 常に清潔な状態が保たれている。(チリやホコリが溜まっていれば清掃する)</li> <li><input type="checkbox"/> 使用後や就業後に整理・整頓ができる習慣が身についている。</li> </ul>	<h4>4 リスクアセスメント (危険の事前評価) について</h4> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 事業場のあらゆる作業において、リスクアセスメントが実施されている。</li> <li><input type="checkbox"/> リスクアセスメントの内容は、職場全体で共通認識を持つ工夫がされている。</li> <li><input type="checkbox"/> リスク低減措置において、「本質的対策」は検討されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 化学物質におけるリスクアセスメントが実施されている。</li> </ul>
<h4>2 職場内での点検整備について</h4> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 設備や道具などの始業前点検は実施できており、帳票類も整っている。</li> <li><input type="checkbox"/> 点検時に異常が発見された場合の報告ルートや対応方法は明確になっている。</li> <li><input type="checkbox"/> 設備、施設などの法定点検は、決められたとおりに実施できている。</li> </ul>	<h4>5 安全で健康な職場づくりについて</h4> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 高齢労働者に配慮した職場づくりを行っている。</li> <li><input type="checkbox"/> 通路などの転倒防止対策・照度の確保がされている。</li> <li><input type="checkbox"/> ハラスメントに関する予防対策、相談窓口が周知されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 地震等が発生した場合の避難経路・避難場所が周知されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 建物の耐震診断・耐震補強は済んでいる。建物・什器等の転倒防止対策がしている。</li> </ul>
<h4>3 標準作業について</h4> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 作業の方法・やり方(標準作業)が、決められており、決めたことが守られている。</li> <li><input type="checkbox"/> 作業のムリ・ムダ・ムラ、やりにくい作業・不安な作業の排除に努めている。</li> <li><input type="checkbox"/> 新たな作業者となった場合、訓練時間を設けて標準作業ができるように実施している。</li> </ul>	<h4>6 安全衛生委員会について (労働安全衛生法に基づき、該当する事業場のみ)</h4> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 安全衛生委員会は最低でも月1回は開催されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 安全管理者や衛生管理者など、法定のスタッフが構成員になっている。</li> <li><input type="checkbox"/> 構成員である産業医に出席を要請している。</li> <li><input type="checkbox"/> 交通安全対策についても協議している。</li> </ul>

以上、ご協力ありがとうございました。

### <ご報告の方法>

- ・WEBにて回答
- ・FAX、メールでチェックシートを送信

<返信先> 連合愛知安全衛生センター

FAX 052-684-0303

メール center@aichi.jtuc-rengo.jp

# STOP! 熱中症

## クールワークキャンペーン

職場での熱中症により毎年約20人が亡くなり、約600人が4日以上仕事を休んでいます。



労働災害防止キャラクター  
チュウイカン吉

準備

キャンペーン期間



重点取組



キャンペーン実施要項

# 私たちの職場における取り組み事例

## 第28回

萩原 理事 (イノアック労働組合 中央執行委員長)

### ■安全衛生の取り組み

安全衛生活動は地味でなかなか評価されにくく、活動も停滞化しやすいため、国内では事業所単位での安全衛生委員会の他に、全社安全衛生委員会を設けてヒヤリハット提案提出や職場5Sコンテストなど、統一した活動テーマを展開しています。活動が評価された職場は年度末に行われる社内の安全総会で表彰され、マンネリ化を防ぐ工夫をしています。また、他部署の管理監督者や作業者も参加する公開作業RAを行い、自職場では気づかなかつたリスクの洗い出しや、作業手順書の見直しを行っています。

安全衛生は労使で活動することを基本としていますが、労働組合としても「いのちと健康を守る」ことを前提に「安全で快適な職場づくり」に取り組んでおり、不安全行動の撲滅と作業環境の改善、労働災害を起こさない環境づくりとそれを維持継続できる風土づくりとして、5つの行動・活動を心掛けています。



萩原 理事

#### 組合独自の行動・活動

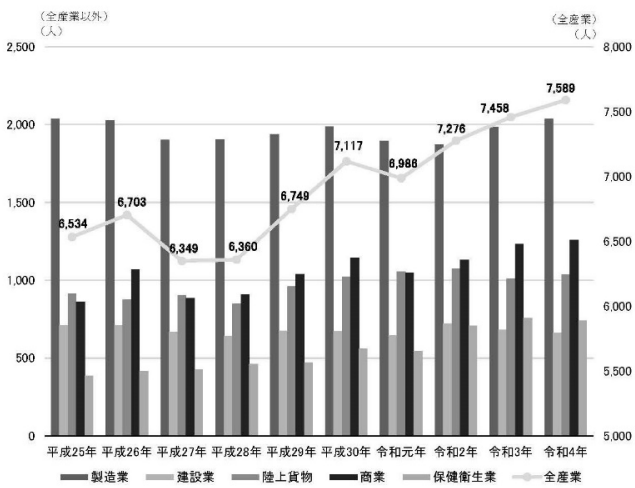
- ① 安全衛生委員会での決定事項を職場に伝達する。
- ② 事業所単位の活動にヨコ串機能を加え、好事例は横展開する。
- ③ 暑熱職場・重筋作業の現状把握と情報共有を行う。
- ④ ヒューマンエラー防止の啓発活動と安全教育を行う。
- ⑤ 安全活動の率先垂範。
  - ・挨拶の習慣（オアシス）
  - ・「止める・呼ぶ・待つ」の周知

安全な人づくりと設備の本質安全化への取り組み、快適な職場環境の実現を目指して安全衛生活動に取り組んで参ります。

## 令和4年

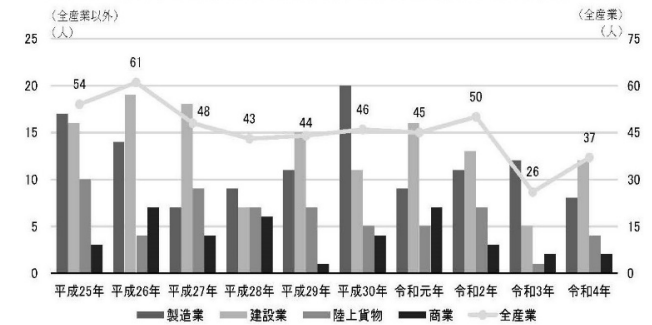
### 1. 労働災害による死傷者の発生状況

※新型コロナウイルス感染症を除く



### 2. 死亡災害の発生状況

令和4年の愛知県内における死亡者数は37人で、対前年比11人の増加となった。



	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
製造業	17	14	7	9	11	20	9	11	12	8
建設業	16	19	18	7	15	11	16	13	5	12
陸上貨物	10	4	9	7	7	5	5	7	1	4
商業	3	7	4	6	1	4	7	3	2	2
全産業	54	61	48	43	44	46	45	50	26	37

#### 2-1 死亡災害の概況

令和4年は、令和3年より11人の増加となった。令和4年の死亡災害について、令和3年と業種別で比較すると、製造業が12人から8人へ減少したが、商業は2人と昨年と同数となり、建設業が5人から12人、陸上貨物運送事業が1人から4人へ増加した。製造業と建設業（災害件数上位2業種）で死亡災害の半数以上を占めている。

